

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成28年9月23日(2016.9.23)

【公表番号】特表2015-536499(P2015-536499A)

【公表日】平成27年12月21日(2015.12.21)

【年通号数】公開・登録公報2015-080

【出願番号】特願2015-539585(P2015-539585)

【国際特許分類】

G 06 Q 50/22 (2012.01)

G 06 F 17/30 (2006.01)

【F I】

G 06 Q 50/22

G 06 F 17/30 2 3 0 Z

【手続補正書】

【提出日】平成28年8月1日(2016.8.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ケースシリーズリポジトリを1つ以上のソフトウェアアプリケーションと統合するため
にコンピュータによって実行される方法であって、

ケースシリーズを受取ることを含み、前記ケースシリーズは1つ以上の有害事象ケース
を含み、各有害事象ケースは、有害事象を表現するデータレコードを含み；前記方法はさ
らに、

ケースリビジョンを受取ることを含み、前記ケースリビジョンはケースリビジョン情報
を含み、前記ケースリビジョン情報は、前記ケースシリーズの有害事象ケースに対する少
なくとも1つの変更を含み；前記方法はさらに、

ケースシリーズデータモデルを用いて、前記ケースシリーズおよび前記ケースリビジョン
をケースシリーズリポジトリ内に記憶することを含み、前記ケースシリーズデータモデルは、
前記ケースシリーズリポジトリ内における前記ケースシリーズおよび前記ケースリビジョン
のフォーマットを規定し；前記方法はさらに、

前記ケースシリーズデータモデルを用いて、前記ケースリビジョンを前記ケースシリ
ーズと関連付けることと、

ケースシリーズアプリケーションプログラミングインターフェイスを用いて、前記ケー
スシリーズおよび前記関連付けられるケースリビジョンを検索することとを含み、前記ケー
スシリーズアプリケーションプログラミングインターフェイスは、ソフトウェアアプリ
ケーションに対して、前記ケースシリーズおよび前記関連付けられるケースリビジョン
のフォーマットを規定する、コンピュータで実行される方法。

【請求項2】

前記ケースシリーズデータモデルは、前記ケースシリーズの1つ以上のケース識別子を
表現するデータフィールドと、前記ケースシリーズの前記1つ以上の有害事象ケースを表
現する1つ以上のさらに他のデータフィールドとを含み、各ケース識別子は、前記1つ以
上の有害事象ケースのうちのある有害事象ケースを一意に識別する、請求項1に記載のコン
ピュータで実行される方法。

【請求項3】

前記ケースシリーズデータモデルは、前記ケースリビジョン情報を表現する1つ以上のさらに他のデータフィールドを含む、請求項2に記載のコンピュータで実行される方法。

【請求項4】

前記ケースリビジョン情報は、前記ケースリビジョンを識別するタイムスタンプ情報を含む、請求項1～3のいずれかに記載のコンピュータで実行される方法。

【請求項5】

前記タイムスタンプ情報は、有効開始日および／または時間ならびに有効終了日および／または時間を含み、

前記ケースシリーズデータモデルは、前記タイムスタンプ情報を表現する1つ以上のさらに他のデータフィールドを含む、請求項4に記載のコンピュータで実行される方法。

【請求項6】

変更ログを作成することをさらに含み、前記変更ログはケースシリーズ履歴情報を含み、前記ケースシリーズ履歴情報は、前記ケースシリーズの履歴に関する情報を含み、前記方法はさらに、

前記ケースシリーズデータモデルを用いて前記変更ログを前記ケースシリーズリポジトリ内に記憶することを含み、前記ケースシリーズデータモデルは、前記ケースシリーズリポジトリ内における前記変更ログのフォーマットを規定し、前記方法はさらに、

前記ケースシリーズデータモデルを用いて前記変更ログを前記ケースシリーズに関連付けることを含む、請求項1～5のいずれかに記載のコンピュータで実行される方法。

【請求項7】

注釈を作成することをさらに含み、前記注釈はユーザ定義情報を含み、前記方法はさらに、

前記ケースシリーズデータモデルを用いて前記注釈を前記ケースシリーズリポジトリ内に記憶することと、

前記ケースシリーズデータモデルを用いて前記注釈を前記ケースリビジョンに関連付けることを含む、請求項1～6のいずれかに記載のコンピュータで実行される方法。

【請求項8】

フォルダを作成することをさらに含み、前記フォルダは、前記ケースシリーズおよび1つ以上のさらに他のケースシリーズの論理的編成を含み、前記方法はさらに、

前記ケースシリーズデータモデルを用いて前記フォルダを前記ケースシリーズリポジトリ内に記憶することと、

前記ケースシリーズデータモデルを用いて前記ケースシリーズを前記フォルダと関連付けることを含む、請求項1～7のいずれかに記載のコンピュータで実行される方法。

【請求項9】

前記ケースシリーズは、名称付きケースシリーズ、アクティブなユーザケースシリーズ、単一使用ケースシリーズ、またはケースヒットリストのうちの1つを含む、請求項1～8のいずれかに記載のコンピュータで実行される方法。

【請求項10】

前記ケースシリーズは、事象シリーズまたは製品シリーズの1つを含む、請求項1～9のいずれかに記載のコンピュータで実行される方法。

【請求項11】

前記ケースシリーズは、1つ以上の薬剤の安全性に関係付けられる1つ以上のレポートまたは患者識別子を含む、請求項1～10のいずれかに記載のコンピュータで実行される方法。

【請求項12】

前記ケースシリーズは複数のケースリビジョンを含む、請求項1～11のいずれかに記載のコンピュータで実行される方法。

【請求項13】

請求項1～12のいずれかに記載の方法をコンピュータに実行させるためのプログラム

。

【請求項 1 4】

請求項 1 3 に記載のプログラムを格納するためのメモリと、
前記メモリに接続され、前記プログラムを実行するためのプロセッサとを備える、シス
テム。